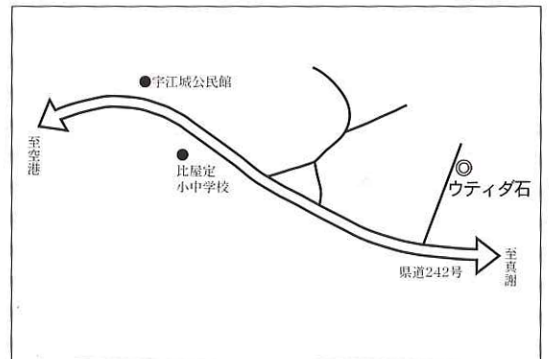




ウティダ石 (太陽石)

指定名称 ウティダ石 (県指定史跡)
所在地 久米島町字比屋定110
指定年月日 昭和49年1月17日
所有者 久米島町

字比屋定東側のはずれ、松林の中にある丸い安山岩の巨石である。今から約500年前の尚清王代に堂の比屋という人が、日の出を観測した石だと伝えられている。今は松林に視界が遮られているが、昔は東方の水平線上に粟国、渡名喜、慶良間諸島が一望に収めることが出来たようである。堂の比屋は、この石によりかかって夏至から冬至までの日の出を粟国島から久場島までの、各島々に目標を置いて観察し、日の出の位置によって季節の移りかわ



りや特徴を知り、作物の播種や植付けの適期あるいは、強風、豪雨の時期などを予知して、人々に教えたと伝えられる。